

視聴問題例 2 : 現代社会 (ラジオ放送)

平成29年度 現代社会 報告課題(第2回)	提出期限 6月27日(火)	栃木県教育委員会 認可通信教育
教科書該当ページ p. 58~p. 91	面接指導日 6/11 (日)・6/13 (火)	

- 1 NHK ラジオ第2 高校講座「現代社会」 第10回 「日本人のものの考え方」を聴いて答えなさい。
- ① 御神輿(おみこし)と日本の伝統思想のつながりについて、御神輿は何をどこに運ぶものと言っていましたか。答えなさい。
- 御神輿は、()を()へ運ぶもの
- ② 日本人が、外国の神も受け入れやすかったのはなぜですか。説明しなさい。
-
- ③ 儒教には、神や仏は登場しません。儒教は、どのような思想だと説明していましたか。簡潔に答えなさい。
-
- ④ 第③のポイント「日本人の自覚」では、日本人のものの考え方や()は、世界共通の常識ではなく、日本独自の文化であることを自覚することが()において大切である、とまとめていました。空欄に適語を入れなさい。

【視聴問題の作成にあたって】

- (1) 報告課題内の視聴問題のバランスはどうしていますか？
- この回は2割(20点)の配点としました。放送を聞き取って答えを導き出すことは生徒にとって多くの時間と労力を要することから、幾分配点を高く設定しました。
- (2) 視聴問題は、語句や解、選択式、自由記述など、どのように作成していますか？
- 内容の穴埋めと、記述の組み合わせにしています。
- (3) 難易度はどのくらいに設定していますか？
- 聴けば誰でも分かるレベル。ただ、内容を説明する問題では、ある程度の理解力を要します。
- (4) 放送内の視聴すべき時間のタイミングに工夫はしていますか？
- できるだけ最初から最後まで聴くことになるような問題を考えています。
- (5) 作成のポイントはありますか？
- 教科書の中で、面接指導に取り入れにくい部分を視聴問題に選んでいます。今回は、「政治」の部分を面接指導で扱い、「日本の伝統思想」の部分を放送視聴で補いました。
- (6) どのような学習効果を狙っていますか？
- 学習のポイントをおさえています。解答するために何度も視聴することによって理解が深まります。
 - 教科書を読むだけより、放送を聴くことで、より印象に残るよう工夫しています。